



議会だより

令和3年

11月
1日号

おおたわら市 “題字は前野良三議長”

No. 202

古紙配合率100%再生紙使用



「佐久山 御殿山公園」提供：大田原市観光協会

市議会では**新型コロナウイルス感染症対策**を徹底して、定例会を行っております。

主な対策内容

- マスクを着用（発言時も着用する）。
- 傍聴の自粛（インターネット中継の視聴を推奨）。
- 一般質問の質問時間を10分短縮。
- 議場内の窓や扉は換気のため開けたままにする。
- 熱中症対策として、マスク自体の工夫やフェイスシールド等の着用。休憩時間では水分の補給を行う。



令和2年度 一般会計ほか7会計決算を認定

決算審査特別委員会



委員長
櫻井 潤一郎



副委員長
君島 孝明



※決算審査特別委員会の状況

決算の概要

本定例会では一般会計ほか7会計の令和2年度決算の認定議案が提出され、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和2年度の一般会計及び各特別会計を合計した歳入総額は614億5072万8523円、歳出総額は596億610万8626円、歳入歳出差引残額は18億4461万9897円となりました。

なお、決算総額を前年度と比較すると、歳入は98億938万8211円(19.0%)、歳出においても97億1052万7981円(19.5%)それぞれ増加となりました。(各会計の詳細は下記のとおり)

一般会計及び各特別会計別決算の状況

(単位:円)

区分	予算現額	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引残額(A)-(B)	
一般会計	47,354,530,732	45,422,303,797	44,114,481,740	1,307,822,057	
特別会計	国保	8,062,035,000	8,101,259,166	7,861,015,617	240,243,549
	介護保険	7,777,359,000	7,165,972,455	6,896,184,916	269,787,539
	子育て支援	30,500,000	30,871,870	6,104,840	24,767,030
	後期高齢者	750,395,000	729,266,727	727,403,263	1,863,464
	須賀川財産	1,200,000	1,054,508	918,250	136,258
	小計	16,621,489,000	16,028,424,726	15,491,626,886	536,797,840
合計	63,976,019,732	61,450,728,523	59,606,108,626	1,844,619,897	

企業会計決算の状況

(単位:円)

区分	予算額	決算額	
水道事業会計	収益的収入	1,665,000,000	1,708,325,391
	収益的支出	1,594,000,000	1,491,209,144
	資本的収入※	385,000,000	375,576,501
	資本的支出※	1,187,500,000	1,100,972,272

※資本的収入が資本的支出に不足する額725,395,771円については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

区分	予算額	決算額	
下水道事業会計	収益的収入	2,031,000,000	2,040,584,443
	収益的支出	1,801,000,000	1,681,138,829
	資本的収入※	642,800,000	420,197,990
	資本的支出※	1,376,854,000	1,149,684,951

※資本的収入が資本的支出に不足する額729,486,961円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

令和2年度

決算認定

令和3年第3回定例会は、去る9月6日から17日までの12日間を会期として開かれました。

本定例会に提出された案件は、報告案件8件、市長の専決処分事項の承認案件1件、大田原市教育委員会教育長任命等の人事案件2件、令和2年度決算認定議案8件、その他の議案3件、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したインフルエンザ予防接種に係る経費等の令和3年度大田原市一般会計補正予算(第5号)、令和3年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第1号)の補正議案2件、陳情1件及び追加提

出議員案・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出等合わせて議案26件が提出されました。

9月定例会では、前会計年度の歳入歳出予算の執行に関し、認定審査を行います。審査は議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、常任委員会ごとの分科会と全体会を通して行い、認定されました。

最終日の本会議では、各常任委員長、決算審査特別委員長より付託案件の審査結果報告を受けた後、採決を行い、追加提出議員案も含め可決されました。

一般質問は、3日間で10名の議員が質問を行いました。詳細につきましては、次ページ以降及び市議会ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。

令和3年 第3回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第9号	市長の専決処分事項の報告について (大田原市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について)	報告受理
報告第10号	市長の専決処分事項の報告について (大田原市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について)	報告受理
報告第11号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第12号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第13号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第14号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第15号	令和2年度大田原市継続費精算報告について	報告受理

令和3年 第3回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結 果
報告第16号	令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告受理
議案第56号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (令和3年度大田原市一般会計補正予算(第4号))	承 認 (全会一致)
議案第57号	大田原市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて (植竹 福二氏)	同 意 (全会一致)
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (伊東 玲子氏)	推薦することに 異議なし (全会一致)
議案第59号	令和2年度大田原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第60号	令和2年度大田原市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第61号	令和2年度大田原市一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第62号	令和2年度大田原市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定を 求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第63号	令和2年度大田原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求め ることについて	認 定 (賛成多数)
議案第64号	令和2年度大田原市子育て支援券特別会計歳入歳出決算の認定を求め ることについて	認 定 (全会一致)
議案第65号	令和2年度大田原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を 求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第66号	令和2年度大田原市須賀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定を求め ることについて	認 定 (全会一致)
議案第67号	令和2年度大田原市水道事業会計決算の認定を求めることについて	認 定 (全会一致)
議案第68号	令和2年度大田原市下水道事業会計決算の認定を求めることについて	認 定 (全会一致)
議案第69号	那須地区広域行政事務組合規約の一部変更に伴う協議について	原案可決 (全会一致)
議案第70号	令和3年度大田原市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議案第71号	令和3年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
陳情第3号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める 意見書の提出に関する陳情	不 採 択 (賛成多数)
議員案第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める 意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

令和3年 第3回大田原市議会定例会における表決状況一覧

議案	伊賀純	秋山幸子	鈴木隆	斎藤光浩	大塚正義	菊地英樹	新巻満雄	前田則隆	深澤正夫	櫻井潤一郎	星雅人	滝田一郎	大豆生田春美	中川雅之	高瀬重嗣	菊池久光	君島孝明	前野良三	引地達雄	高崎和夫	小林正勝
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第61号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第62号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第63号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第65号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
陳情第3号 (不採択に対して)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※前野良三議長は採決に原則加わりません

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<https://www.city.ohawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714

一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	大塚 正義	①妊娠時周産期のグリーフ(悲嘆)ケアの充実について ②高齢者デジタル講習について ③カーボンニュートラルを見据えた施策について	5	大豆生田 春美	①通学路の安全安心について ②地産地消の推進について
2	鈴木 隆	①コロナ禍における児童生徒の健康・体力向上などについて ②児童生徒の安全な通学などについて ③市における土砂等の埋立てについて	6	秋山 幸子	①大田原市水道事業について ②手話言語条例の制定について
3	伊賀 純	①新型コロナウイルスの市の対応について ②女性の尊厳を守るための目指すべき社会について ③市民の生活を支える大田原市の市営住宅について	7	斎藤 光浩	①災害時のペット同行避難について ②空き家対策について
4	滝田 一郎	①コロナ禍における子ども医療費助成等の拡充による子育て支援について ②シャトー・エスポワールの再開及びふれあいの丘各施設の利用状況について ③佐久山のケヤキ倒木を契機とした天然記念物の指定解除及び所有者責任について	8	中川 雅之	①eスポーツの普及促進について ②新型コロナウイルス感染症対策について
			9	星 雅人	①市長のマニフェストについて
			10	高瀬 重嗣	①大田原市を評価する各種調査について ②いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について



妊娠時周産期の グリーフ(悲嘆)ケア の充実について



大塚 正義 議員

質問…晩婚、晩産化の進展で不妊治療を受ける人が増える一方、流産や死産を経験した女性が適切なケアを受けられずにいる現状を受け、厚生労働省が支援強化に乗り出しました。不妊治療支援の一環として、流産や死産を経験した女性も母子保健法上の支援対象であるとし、また支援に当たって乳幼児と同じ場所でのケア事業を行うと、子供を

失った女性が精神的に負担を感じることから、適切な配慮をするよう要請にもなりました。そこで、大田原市のグリーフケアの取組や施策について伺います。

今後、子育て世代包括支援センターを核とし、個別による支援を継続すると共に、地域で活動される助産師など関係職種、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

一般質問



鈴木 隆 議員

コロナ禍における児童生徒の健康・体力向上などについて

質問…児童生徒が接種を受けやすくなる工夫や出欠の扱い、接種の有無による差別やいじめが起きないような指導の徹底等について伺います。

答弁…ワクチン接種について、担任または学校から進んで受けるようにという指導はしていません。遠くへ行けない、なかなか都合がつかないという場合に、学校、授業を休んで行くときは

出席停止の取扱いで欠席とはなりません。子供たちの差別は絶対あってはならないことで、学校教育、あらゆる活動を通して差別、偏見がないように十分指導してまいります。

質問…学校給食による健康・体力向上について伺います。

答弁…学校栄養士が学校給食摂取基準に沿って標準献立を作成し、七夕等の行事食や地産地消

の日の設けるなど工夫を凝らしています。各家庭には給食だよりを毎月発行し、毎日の献立をお知らせするほか、家庭の食事での食品の選択や栄養についての知識の普及を行っています。今年度はオリンピックの開催を背景にスポーツ栄養をシリーズ化し、児童生徒の健全な成長や体力の向上について、家庭への情報発信や啓発を行っています。

女性の尊厳を守るため
の目指すべき社会に
ついて



伊賀 純 議員

質問…生理用品を学校、公共施設に常備できないか伺います。

答弁…生理用品は各学校の保健室に常備し、必要な対応はできていますので、トイレの常備は考えていません。公共施設も現時点で常備は考えていません。

質問…生理の話になると男性にはわからないことであり、どこまで踏み込んでいいのかかわらないと思うが、この件で意思決

定ラインに女性の管理職が入っているか伺います。

答弁…男女共同参画に関しては部長、課長は男性ですが、係長は女性であり、庁内の連絡会議において、女性も入っています。男女の比率は確かに少ないですが、全くないということではありません。

質問…生理用品の支援については、コロナ禍での困窮支援とい

う発想ではなく、年齢の枠なく、女性が生理の時に困らないような社会の在り方を考えるべく、女性の職員主導での施策を進めるべきと考えますが、市の考えを伺います。

答弁…困窮している女性への支援は、女性活躍の観点からも必要な事だと思えます。庁内の検討会、審議会等でも意見を伺うような仕組みを考えていきます。

一般質問



滝田 一郎 議員

コロナ禍における子ども
医療費助成等の拡充に
よる子育て支援について

質問…県内の市町において償還払いから現物給付への流れが急速に拡大しています。小中学生

の償還払いは本市と矢板市のみです。小中学生にとりまして大切なことは家庭の経済事情や市町の財政事情に左右されない公平な医療行政だと思います。そこで小中学生の子ども医療費助成を県内先行23市町に足並みをそろえ受診ごとの窓口支払い不

要の現物給付にすべきではないか見解を伺います。

答弁…現物給付を実施した場合安易な受診による過剰診療や医療費総額及び医療費助成額の増加が懸念されますので公平性の確保や適正受診を図るために償還払い方式にしています。国や県のペナルティーも科せられる状態での独自の現物給付の実施は不必要な財政負担と市民負担

に結果的につながっていくものと考えています。県が補助金カットの見直しを行うなど新たな動きが出てくれば今後の財政状況を勘案しながら事業の見直しを考えてまいりたいと思えます。それまでは引き続き国や県に対して制度改正の働きかけをしてまいります。

地産地消の推進について



大豆生田 春美 議員

一般質問



質問者席

秋山 幸子 議員

大田原市の水道事業について

質問…本市の推進状況を伺います。また、今後新たな取り組みは考えているのか伺います。

答弁…本市では、小中学校の給食で地域の食材を使用した与一くんランチや栃木県の地産地消の日に合わせて、県内の特産物を使用したメニューを提供することにより地産地消のPRを図ってきました。今後は、県やJA等と連携し、地産地消に関

する講演会や直売会等の開催、また市内の地産地消推進店や農産物直売所の市ホームページ及び広報誌でのPRに加え、推進店のさらなる拡大に取り組んで参りたいと考えています。

質問…食の豊かさや持続可能な取組をすることで、本市の良さをさらに発信できるのではと思いますが、考えを伺います。

答弁…推進協議会等につきま

しては、前向きに取り組んでいき、地産地消をいかに実現して、地元生産者のもとより、販売店、加工する方々、エンドユーザーといえますか、市民の方々が多くの地元の農産物を食する機会を作っていく、そこに行政指導の大切さは理解をしています。つきましては、よく精査をしながら、前向きに取り組んでいきたいと感じています。

質問…大田原市水道事業ビジョンでは、水道事業の広域化、統合も検討するとしています。今後は、広域化が水道事業にどのように影響するか伺います。

答弁…今後直面するであろう大幅な水道料金の値上げを抑えるために、水道事業の広域化は必須の課題です。県の水道事業広域化連携等検討会では、各水道事業所の現状分析が行われ、県

内を3ブロックに分けた意見交換会が行われました。また、北那須3市町広域連携検討会上下水道部会において協議が行われました。いずれの検討会におきましても、事業者の相違が大き

く、広域化、共同化に向けての調整に時間を要する状況です。
質問…水道法の改正で民間企業が参入しやすくなったが、世界33か国の267の都市で、民営

化された水道事業の再公営化が世界の流れです。水道法第6条2、水道事業は市町村が経営するということ原則を堅持し、安心安全な水の供給について伺います。
答弁…基本的に地方自治体が責任を持って安全安心な命の水を供給する原則は我々が堅持していくものと思っており、より持続可能な水環境を続けていく為に、今後も努力していきたい。

災害時のペット同行
避難について



齋藤 光浩 議員

質問…災害時のペット同行避難について、本市の考えを伺います。

答弁…避難所の飼育が困難でない限り、原則ペットも受け入れることとしています。受入れ時には、ペット登録台帳にペットの名前や種類、品種、性別や、犬であれば狂犬病予防接種の状況等を記録し、ゲージ等での飼育が可能であることを確認した

上で受け入れることとしていきます。一方で、避難所は多くの被災者が避難生活を送る場であり、動物を苦手とする方や動物アレルギーを持つ方など、動物と一緒にいられない方がいることを配慮しなければなりません。したがって、避難所ごとの特性やその場の状況に合わせ、一般避難者とは別の部屋を用意するなどしてペット専用ス

ペースを確保する対応が求められます。また、飼い主に対しては、ペットの給餌や清掃などは、飼い主自らが責任を持って飼育することを基本とし、避難所という特殊な状況下においてトラブルが生じないように配慮をお願いすることとなります。

一般質問



中川 雅之 議員

新型コロナウイルス
感染症対策について

質問…現在、国や地方自治体で問題になっているのは、自宅療養についてであります。自宅療養対象者は軽症と診断された感染者が中心で、療養期間は約10日間になります。しかし、軽症と診断された感染者でも、自宅療養中に1〜2時間で急変して重症化し、救急搬送を行うケース、命を落とすケースが急増しています。対応の遅れで生死に

も関わる状況が全国で増加し、大きな問題になっています。それらを踏まえ、感染拡大防止、医療崩壊防止、そして市民の命を守る「自宅療養に替る大田原方式・独自の空き施設の利活用」が考えられないものか、市の考えを伺います。

答弁…感染症法や、厚生労働省のガイドラインに基づき、療養施設の確保は都道府県が実施主

体となり、施設の選定については、客室数、動線及び適切なゾーニングのほか、医療従事者や療養を支援する人員確保等を含め、施設ごとのオペレーション体制を総合的に勘案して決定されています。また宿泊施設の選定基準がガイドラインで定められており、ふれあいの丘等の市有施設を利活用することは難しいと考えています。

市長のマニフェスト
について



星 雅人 議員

質問.. 地方主権時代の到来に備えた「おおたわら改革」として、「市長退職金ゼロの実現」、「副市長一人制の実現」、「大田原市自治基本条例の実施」、「市民にわかりやすい組織の実施」、「市長の任期は最長3期12年まで」に関し、これまで力を入れてきた取り組みや成果について伺います。

答弁.. 市長退職金を1期目は20円とし、2期目以降は市長職として働くことへの対価として、正規の金額をいただくこととしました。副市長は、1人制を実現した後、直面する政策課題に迅速かつ積極的に対応するため、平成30年6月議会にご議決をいただき、副市長2人体制とした。事業仕分けは、市民参加による事業仕分けを実施した後、

職員自らによる事務事業評価が有効と判断し、庁内での検討会議を実施しています。自治基本条例を制定し、市民に分かりやすい組織に改編を行い、新庁舎を建設し、組織を集約しました。市長の任期については、3期目の総仕上げとして、政策課題に鋭意取り組んでいるところです。

一般質問



高瀬 重嗣 議員

いちご一会とちぎ国体
とちぎ大会について

質問.. 東京オリンピック・パラリンピックでは開催された事自体に深く感謝する選手が沢山いました。全てのアスリートにとつて成果を発揮できる機会が奪われる事がどれほど辛いか、私達は昨年の中3・高3生の涙を見て知っているはずです。本市で国体を開催する事の意義・理念について伺います。

答弁.. 子供や市民に夢と希望を与えるもので、スポーツ基盤の整備や指導員の養成等の社会資源の充実により、競技スポーツは勿論、生涯スポーツの振興に繋がると確信しています。市民総参加、魅力発信、市民スポーツの推進、地域スポーツの活性化の4つの実施目標を掲げ、更なる経済的効果と地域の一体感を醸成する社会的効果に繋がるよう、準備を整えてまいります。

質問.. 国体開催に向け、本市の感染症対策等について伺います。
答弁.. ワクチンや治療方法が充実してきている中で、必ず開催できると思っていますし、努力もしてまいります。
質問.. 国体をはじめ、生徒が参加する大会の実現について伺います。
答弁.. 那須地区全体で協力し対策を取り実行。やる気満々です。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

大田原市議会議員 前野良三



提出先：	衆議院議長	大島理森殿
	参議院議長	山東昭子殿
	内閣総理大臣	菅義偉殿
	内閣官房長官	加藤勝信殿
	総務大臣	武田良太殿
	財務大臣	麻生太郎殿
	経済産業大臣	梶山弘志殿
	経済再生担当大臣	西村康稔殿

議員案第4号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について
 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を別紙のとおり提出する。

令和3年9月17日提出

提出者	大田原市議会議員	君島孝明
賛成者	大田原市議会議員	高崎和夫
	同	滝田一郎
	同	大豆生田春美
	同	高瀬重嗣
	同	引地達雄

協議会及び委員会の内容

7月~9月

全員協議会

◆7月16日 (報告事項)

- 1 大田原市総合計画後期基本計画に関するパブリックコメントの実施について
- 2 議会一般質問等答弁事項に係る進行状況の報告について
- 3 新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設訓練の実施について
- 4 令和3年度大田原市一般会計補正予算第4号について
- 5 市史編さん事業における資料集「大田原市の郷土誌」及び「大田原市史研究」の刊行について
- 6 那須地区消防組合議会臨時会報告について
- 7 一般質問等における議場に持込むパネルの取り扱いについて

◆8月10日 (報告事項)

- 1 第2期大田原市未来創造戦略の令和2年度事業の進捗状況及び地域再生計画の認定について
- 2 令和2年度男女共同参画に関する年次報告書について
- 3 敬老関係事業について
- 4 大田原市新型コロナウイルス感染症対策飲食店支援のための食事割引券発行事業実施時期の延期について
- 5 9月定例会の取り扱いについて
- 6 行政視察及び井原市友好親善都市訪問の取り扱いについて
- 7 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
- 8 議会報告会について

(協議事項)

- 1 議員案について
- 2 市民5分間演説の再開について

◆9月17日(臨時) (協議事項)

- 1 議員案について

◆9月17日 (報告事項)

- 1 大田原市過疎地域持続的発展計画策定に係る意見交換の開催について
- 2 第3次大田原市行政改革大綱に基づく年度別実施計画の令和2年度実績及び計画期間全体の実施結果について
- 3 大田原市職員の旧姓使用について
- 4 令和3年度インフルエンザ予防接種の費用助成について
- 5 新型コロナウイルスワクチン接種実績について
- 6 令和3年度全国学力・学習状況調査結果及び令和3年度とちぎっ子学習状況調査結果について

(協議事項)

- 1 大田原市議会正副議長立候補所信表明演説会実施要綱の一部改正について

総務常任委員会

◆9月13日

- 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

◆9月13日

- 1 付託議案の審査

議会運営委員会

◆7月16日

- 1 一般質問等における議場に持込むパネルの取り扱いについて

◆8月10日

- 1 9月定例会の取り扱いについて
- 2 行政視察及び井原市友好親善都市訪問の取り扱いについて

- 3 議員案について
- 4 市民5分間演説の再開について

◆8月30日

- 1 令和3年第3回定例会の招集について
- 2 提出された議案等について
- 3 一般質問について
- 4 提出議案等の内容について
- 5 会期について
- 6 議案等の取り扱いについて
- 7 会議日程について
- 8 一般質問の割り振り(案)について
- 9 請願・陳情の取り扱いについて
- 10 令和2年度決算審査について
- 11 大田原市議会正副議長立候補所信表明演説会実施要綱の一部改正について

◆9月17日

- 1 議員案について

決算審査特別委員会

◆9月8日

- 1 委員長及び副委員長の互選について
- 2 分科会の設置について
- 3 会議日程について

◆9月13日

- 1 各分科会(第1~第3)

◆9月15日

- 1 全体会

広報広聴委員会

◆7月1日

- 1 議会だより8月号について

◆7月9日

- 1 議会だより8月号について

◆9月24日

- 1 議会だより11月号について

議会 会 日 誌

7月



- 1日 ○ 広報広聴委員会
- 7日 ○ 栃木県市議会議長会議
- 9日 ○ 広報広聴委員会
- 16日 ○ 議会運営委員会
- 全員協議会

8月



- 10日 ○ 会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 30日 ○ 会派代表者会議
- 議会運営委員会

9月



- 6日 ○ 令和3年第3回市議会
定例会招集(議案上程)
- 8日 ○ 本会議
(議案質疑・一般質問)

- 決算審査特別委員会
(議案質疑・一般質問)
- 9日 ○ 本会議(一般質問)
- 10日 ○ 本会議(一般質問)
- 13日 ○ 総務常任委員会
- 建設産業常任委員会
- 決算審査特別委員会
(各分科会)
- 15日 ○ 決算審査特別委員会
(全体会)
- 17日 ○ 議会運営委員会
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(議決)
- 全員協議会
- 24日 ○ 広報広聴委員会



市民5分間演説休止のお知らせ

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しておりましたが、コロナ禍による状況変化にともない、市民の安全・安心を推進している市議会としては、「市民5分間演説」は当面の間休止とさせていただきます。

また、将来において、コロナ禍が終息しうる状況になった場合には、市民の皆様のご参加をお待ちしておりますので、それまでにはご自愛くださいますようお願いいたします。





『令和3年度

議会報告会』

動画撮影風景



『令和3年度 議会報告会』▶ 動画配信

- 市議会では例年議会活動の報告や議員と市民の意見交換会を行う場として開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めるため、報告内容を映像により配信いたします。
- 市議会ホームページ、公式 Facebook、YouTubeからご覧ください。

令和3年 12月定例会 開催のお知らせ

会 期 (予 定)

市議会HPはこちらから



11月29日(月)~12月8日(水)

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

みなさんからの 請願・陳情 (委員会審査状況)

陳情第3号

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書の提出に関する陳情

(令和3年8月提出)

(提出者)

那須塩原市太夫塚

31221
星 功

(陳情の趣旨)

人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること

(総務常任委員会 審査の内容・結果)

審査の結果、陳情の趣旨については十分に理解できるが、埋立て以外の諸問題が多く、政府責任において取り組むべき問題であるとの観点から、委員全員一致で「不採択」とすることになりました。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表 紙》

〇〇〇に関する
請願(陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内 容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所
氏名
大田原市議会議長あて

